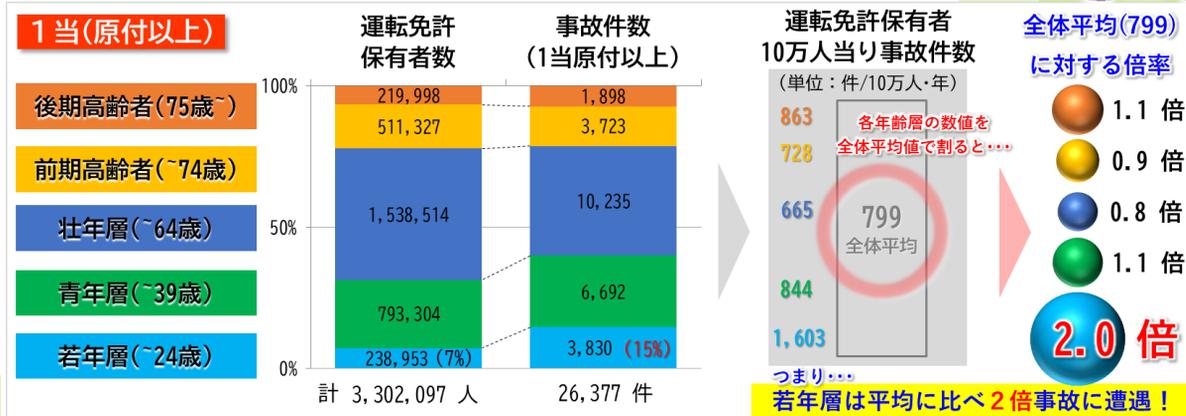


1当(原付以上)



車両運転中の事故 各年齢層の傾向は？

- 県内の運転免許保有者約330万人のうち約7%を占める若年層が、交通事故件数（1当原付以上）の約15%（年間約3,800件）の第1当事者に該当。
- 各年齢層毎の事故の遭いやすさを比較するため、運転免許保有者10万人当り交通事故件数に換算すると、若年層が最も高く全体平均(799)の約2倍という結果に。



(出典) 事故件数: 事故データ(2015~2024年平均値) 運転免許保有者数: 福岡県警察本部運転免許管理課調べ(2015~2024年平均値)

- 若年層は全ての項目(キーワード)で倍率が高く、運転技術の未熟さと経験の浅さが浮き彫り。
- 後期高齢者はペダル踏み間違いを始めとした身体・認知機能の変化に伴い、死亡事故に至りやすい傾向が表れる結果に。



若年層の皆さんへ

年当り発生件数 (過去10年平均)

102件

32件

313件

431件

120件

62件

44件

(出典) 事故件数: 事故データ(2015~2024年平均値) 運転免許保有者数: 福岡県警察本部運転免許管理課調べ(2015~2024年平均値)

高齢者の皆さんへ

ドライバーとして成長途上と認め、「自分も事故に遭うかも」と構えるべし

「運動・認知機能の変化」を自覚し、補償運転に努めるべし